第３回福井市地域生活交通活性化会議　議事要旨

日時	平成３０年7月３１日（火）１３：３０～１５：００
場所	福井市役所別館５階　大講堂
	【協議事項】 議案１．京福バスの路線再編について （事務局が交通戦略について説明） （京福バスが資料１に基づいて説明）
委員	事務局より福井市の交通戦略についてということで、大きな流れについて説明があったが、それをもとにした都市間移動の軸をどうするかということを考える必要があると思う。また、丸岡と福井との結びつきをこれまで、高木・森田経由を軸にした丸岡線としてやっていたものを大和田丸岡線という路線名を使って軸とするのか、あるいは県立病院丸岡線を軸とするのか。いわゆる丸岡との軸を大和田経由へ変えるという話をいただいているが、『大和田丸岡線』は名称的に丸岡地区との一番のメインのバス路線だということが非常に分かりにくいと思う。また、それにともなって森田地区を経由しなくなることに対してのフォローが十分なのかというところも懸念している。 もうひとつは大和田エコラインが、清水グリーンラインや越前海岸ブルーラインと同様に幹線軸の名称として非常に明確なものとして整備されたが、今回、大和田エコラインをなぜ廃止するのかが分からない。大和田大学病院線に変わるために廃止ならば、名称を大和田エコラインにするのは駄目なのか。グリーンラインやブルーラインと同様に、大和田大学病院線というのは、これからの北東方面の軸となるということで、もっと分かりやすい名称にするべきではないか。どんどん名称が分かりにくくなってきているように感じる。系統番号を見てもらえば分かるだろうという話かもしれないが、地図を読み取れる人はなかなかいない。そのような人達のためにも、グリーンラインやブルーラインのように幹線ということが分かりやすい名称をつけるなどの取組を続けてもらいたいと思う。
委員	名称について、今まであった県立病院丸岡線と若干異なるルートで県立病院・大和田地区を経由して丸岡城まで至る路線ということで、乗り間違えを防ぐために系統番号や路線名をあえて変えている。利用者から県立病院丸岡線という名称に親しみがあるという意見が多数あれば、名称は今からでも変更はできる。また、大和田大学病院線が新設ということで大和田エコラインが廃止となるが、こちらについても今までの名称を使っていくことは可能ではある。しかしながら、これだけ長い延伸をした場合は、利用者の方々が混乱しないようにあえて路線名を変更している。名称についても大学病院まで行くということで、大和田大学病院線という名称にしている。
委員	軸となる路線の便数を増やして、幹線に位置づけるということと、路線の名称

	とが連動していると良いといった趣旨の意見であるので、すぐに修正ということは難しいかもしれないが、今後は名称についてもこのような方向性を持って考えていただけたらと思う。また。乗合タクシーの名称についても不評である。乗り継ぎをどこでするのかが分からないという点と予約が必要なデマンドタクシーと勘違いしている点がある。乗合タクシー事業としての事業名称をそのまま使っているから勘違いしているのではないか。利用者がイメージしやすい名称をつける必要があると思う。特に福井市については、地域バス、地域コミュニティバス、乗合タクシーと様々な運行形態があるが、利用者からすれば、どれもバスという認識である。ひとつの提案として名称を一般公募で決定するなど、利用者が共通のイメージをもてるような分かりやすいものに整理していければ良いと思う。
委員	例えば地域コミュニティバスは運営主体が地域であるので地域で名称をつけていただくということは可能だが、乗合タクシーの事業の進め方は事業者が主体となっている取組であるので地域の方に路線の名前を付けていただくといったような動きはこれから必要になってくるのかなとは思う。整理の仕方として、定時定路線の乗合タクシーと予約が必要な乗合タクシーとで違いが分かるように整理をしていく点については必要であると感じている。
座長	これまでのバスやタクシーは単純なもので利用者の共通認識が通用してきたが、車両の大きさや運行形態など様々なものがでてきて、ややこしくなってきている。すぐにできることではないが、名称も含めて整理をしていければよいのかなと思う。また、事業者のホームページや地域の方への広報で車両の写真を掲載するなど、丁寧に周知していくことで利用者の不安や認識のズレが解消できるのではないかと思うので、そういった対応を取っていただいた上で様子を見て、更に名称についてどうしようかという議論をするといった段階を踏んでいけばよいのではないかと思う。
委員	今回の再編で美山の方で高校生の通学に支障がでていないか。美山地域は過疎化が進んでいる地域であるが、交通の不便さも過疎化の要因となると思うので、そのあたりについても配慮いただきたい。
委員	減便というのは朝６時台に２本あったものが１本になるとか、７時台に２本あったものが１本になるといったような変更をするものであり、生活の足が全く無くなるといったようなものではない。１５時台も減便となるが小学校の下校時間と重なる部分であるので、そこの部分はスクール便として学校がある日は特別に運行するといった配慮はさせていただこうと考えている。
座長	他に意見が無ければ皆様からの意見を今後に反映させていくということで承認してよろしいか。

	異議なし、承認。 議案２：森田地域コミュニティバスの試行運行開始について （事務局が資料２に基づいて説明）
委員	新規の路線・停留所が設けられるということだが、福井警察署の方へ協議は済んでいるのか。
事務局	選定された事業者である京福バスの方で新設する路線・停留所の設置については事前に警察署と協議されたと伺っている。
委員	大和田丸岡線は三ケ村という停留所で森田地区の方に利用してもらうということであったが、大和田丸岡線から三ケ村で降りて、森田地域コミュニティバスへ乗り継ぐときに、森田栗森郵便局や森田東団地の停留所へはどのように乗り継ぐのか。森田地域コミュニティバスの路線は森田地区を通る大和田丸岡線が三ケ村でしか停まらないということを踏まえたうえで作られているものなのか。
委員	おっしゃるように、大和田丸岡線は森田地区では三ケ村しか通らないが、森田地域コミュニティバスの基本構想としては、拠点を森田駅に定めて中心市街地への広域的な移動については森田駅から鉄道を利用していただき、エルパ方面への移動については森田駅を起点とした中藤乗合タクシーを利用していただくような作りこみをしている。このように森田駅で鉄道や乗合タクシーに接続する方が良いのではないかという議論が地元の中でもあり、今回はあえて三ケ村での接続をしなかった。今後の見直しの中で争点となってくる点かもしれないが、今回はこのような整理を地元の方としてもされている。
委員	既存路線でも三ケ村にはいろんな路線が停まるようになっているので、そのような点も踏まえた上で森田地域のネットワークを考えていくべきなのかなと思う。
座長	路線の除雪についてはどのように考えているか。
事務局	除雪路線については県道と市道それぞれの中で重点的に除雪する路線など細かく分かれている。実際に森田地域コミュニティバスの該当路線についてどの路線を優先的に除雪していくかについてのすり合わせというのは行っていない。大きい道路については早めの除雪が入るが、地域コミュニティバスの性質上、地域内の細い道路に入り込んでいくので、前回のような規模の大雪では運行が難しいか

	もしれないが、例年通りであればそこまで大きな問題にはならないと思う。バス路線全てを最優先に除雪するということは難しいが、道路行政に対して地域コミュニティバスを含めた路線情報を提供することでスムーズな運行が確保できるように進めていきたいと考えている。
座長	前回の大雪は仕方の無い部分があるとして、通常時に安全でスムーズな運行が確保できるようにご配慮いただければと思う。
座長	特に異議がなければ承認ということでよろしいか。 異議なし、承認。 以上